

Web開催

## 第2回 Healthcare Clowningと 療養環境を考える多職種勉強会



病気や障がいを抱える子どもたちと家族を支えるためには、社会全体が“成熟”することがとても重要です。すべての子どもがこどもらしく過ごせる社会、そして誰もが笑顔になれる社会を目指すために、「第2回 Healthcare Clowningと療養環境を考える多職種勉強会」を開催します。

今回は、「いつも心に赤い鼻を〜コロナ禍で、成熟社会を目指して、わたしたちができること」をテーマに、新型コロナウイルスの感染拡大の中で、療養環境を支えていくために、さまざまな分野で活躍する多職種が集まり知恵や経験を共有する場をつくり、共に学び、考え交流する機会をつくっていきます。

また、コロナ禍での、日本におけるヘルスケアクラウンの取り組みを紹介し、だれもが心の中にもっている「赤い鼻」や人と人がつながることの大切さ・人間愛について考える機会になればと思っています。

主催 認定 NPO 法人 日本クリクラウン協会



当協会は、「すべての子どもにこども時間を」をテーマに掲げ、入院している子どもたちがこどもらしく過ごせる「こども時間」を届け、こどもの成長や発達を支えていきたいと考え、クリクラウン（臨床道化師）を小児病棟に派遣しています。

2004年、オランダ総領事館文化プログラムとしてオランダでの活動が日本に初めて紹介され、それに啓発された医師、看護師、家族会、道化師の有志がクリクラウンオランダ財団（CCNL）と提携し、任意団体をつくり、2005年10月にNPO法人を設立。日本で唯一クリクラウンの養成・認定・派遣・啓発活動を行う組織として現在に至ります。（2016年11月に大阪市から「認定NPO法人」として認定を受ける。）

2019年度クリクラウン派遣事業では、全国48病院の小児病棟をクリクラウンが288回訪問。関わった子ども数は、9,588名。

### ● 日程

<1日目> 9/5(土) 10:00~13:00 (9:40 入室開始)  
<2日目> 9/6(日) 13:00~16:00 (12:40 入室開始)

### ● 定員

各日 60名 (関心のある方ならどなたでも参加できます)

### ● 参加費

<1日目> 9/5(土) 3,000円  
<2日目> 9/6(日) 3,000円

※ 8月末日までにお申し込みされた方限定で、「一緒に学ぼうセット(当日使用する資料やあかはな)」をレターパックにて送付します。(それ以降の申し込み者は、メールで当日配布資料をお送りします。)

### ● 参加条件

Zoomを使ってアクセスできること。

※ Zoomとは、あらゆるデバイスでできる簡単なビデオ会議 (<https://zoom.us/>)

※ 詳しい使用方法是、Zoomのヘルプセンター(<https://support.zoom.us/hc/ja>)をご参照ください。

### ● 参加方法 (オンラインのみ)

9月4日(金)に、当日会場にアクセスするための招待URLをメールでお送りいたします。アプリ、ブラウザのどちらからでも視聴可能ですが、推奨環境はPCでのアプリ使用です。音声が届くデバイス・マイクをご用意ください。

### ● お申し込み方法

右記QRコードまたは以下のサイトからお申し込みください。  
<https://healthcareclowningjapan2020.peatix.com/view>



### ● 主催 & お問い合わせ

認定NPO法人 日本クリクラウン協会  
〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3-11天しもビル3B TEL:06-4792-8716 FAX:06-4792-8746  
E-mail:info@cliniclowns.jp <http://www.cliniclowns.jp>



● 《1日目》 2020年9月5日(土) 10:00~13:00 (9:40 入室開始)



### ご挨拶 & 問題提議

#### 「コロナ禍で、成熟社会を目指して、わたしができること」

認定NPO法人 日本クリクラウン協会  
理事長 河 敬世 氏

病気や障がいを抱える子どもたちと家族を支えるためには、社会全体が“成熟”することがとても重要です。多様性“Diversity”と異質性“Heterogeneity”をキーワードに、新型コロナウイルスの感染拡大の影響をうけるなか、成熟社会を目指すために一人ひとりができることを皆さんと一緒に考えていきましょう!



1970年に大阪大学医学部を卒業し、小児科医として40年以上のキャリアを持つ。主に小児がんや血液疾患、EBウイルス感染症などの診断、治療に従事し、小児造血幹細胞移植の実績は日本一を誇る。2010年3月に大阪母子医療センター院長を定年し、4月から同顧問に就任。日本クリクラウン協会とは設立当初から関係し、2010年5月から理事長に就任し現在に至る。

### レクチャー

#### テーマ「新型コロナウイルスの影響をうける中で、子どもたちの療養環境支えていくために、それぞれの立場からの提言と意見交換」

#### ①「新型コロナウイルス感染症に病院がどう立ち向かっているのか?」

大阪医科大学附属病院 感染対策室  
感染管理認定看護師 川西 史子 氏

新型コロナウイルスの感染拡大のなか、患者さんとスタッフを感染から守るために、病院では、新型コロナウイルス感染患者さんの受け入れをしながら、感染しない、感染を広げないための対策を実施しております。子どもたちの療養環境を支える支援団体は、どのようなことに気をつけて、子どもたちと向き合っていくといいのかを一緒に考えていきたいと思います。



看護人生の半分以上を感染一筋にきました。

大阪で生まれ育った生粋の大阪のおばちゃん(おばはん?)です。感染管理認定看護師になって15年になりますが、最初の5年間はりんくう総合医療センターの感染対策センターで勤務し、大阪医科大学附属病院には、東日本大震災の年2011年から勤務しています。

#### ②「～こんな時こそ、ノーサイド!!～コロナ禍の障がい福祉の取り組み」

株式会社ノーサイド  
代表取締役 中西 良介 氏

コロナ禍で学校が休校になる中、障がい福祉施設でも多くの重症心身障がい児のご利用者さんが、感染のリスクを考えて、自宅に孤立している状況でした。

ご自宅で自粛しているご利用者さんのために、私たちは何ができるだろうかと、スタッフみんなで考えた新しい取り組み。ご自宅へ訪問する「移動ノーサイド」やYouTube動画配信「ノーサイド秘密倶楽部」「Webを使っての子どもたちへの繋がり」のことをお話しし、コロナ禍の障がい福祉について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



生まれも育ちも大阪府東大阪市。座右の銘は「そりゃ嫌なことでも辛いこともあつけど、みんなで楽しくすごそうや(^o^)」。ヘルパー歴16年。16年前に重症心身障がい児と出会い、支援の敷も種類も少ない環境を改善したいと思い、無いら自分で作ろうと起業。現在は、東大阪市を中心に障がい児者を支援する事業を行っている株式会社ノーサイドの代表取締役をしています。日本中の重症心身障がい児と出会いたいと思い、2019年11月に日本クリクラウン協会の認定試験に合格しクリクラウン「らが〜」としても活動しています。

生まれも育ちも大阪府東大阪市。座右の銘は「そりゃ嫌なことでも辛いこともあつけど、みんなで楽しくすごそうや(^o^)」。ヘルパー歴16年。16年前に重症心身障がい児と出会い、支援の敷も種類も少ない環境を改善したいと思い、無いら自分で作ろうと起業。現在は、東大阪市を中心に障がい児者を支援する事業を行っている株式会社ノーサイドの代表取締役をしています。日本中の重症心身障がい児と出会いたいと思い、2019年11月に日本クリクラウン協会の認定試験に合格しクリクラウン「らが〜」としても活動しています。

#### ③「感染のリスクなく『こども時間を届けたい』

認定 NPO 法人日本クリクラウン協会  
理事・トレーナー 石井 裕子 氏

新型コロナウイルスの感染拡大の影響をうけ2020年2月からクリクラウンの訪問を中止。2020年3月にクリクラウンのWeb事業をたちあげ、YouTubeやライブ配信、そして、病院へのクリクラウンWeb訪問など、感染のリスクなく、こども時間を届けたいと奮闘してきました。コロナ禍だからこそ生まれた取り組みとコロナ禍だからこそ病気や障がいを抱える子どもたちの療養環境を支えていくために大切だと感じたこと語ります。

#### クリクラウン Web 訪問への挑戦!



2000年にアメリカのクラウンキャンプにてケアリングクラウンを受講。その奥深さに興味を持ち続け、ケアリングクラウンとして活躍。2004年に日本クリクラウン協会設立委員となり、クリクラウンオランダ財団で研修を受け、法人設立後は、日本でのクリクラウン養成トレーナーを担当。2013年に理事に就任し、クリクラウントレーナーとして事業を統括し、日々ワークドキドキに心を踊らせながらクリクラウンとして全国の小児病棟を訪問。また、学会や医療・福祉・教育の分野で講演会・研修会の講師も務める。